

# カトリック六甲教会 教会報

2015

4

No.520

主のご復活おめでとうございます



小教区評議会議長に就任して

小教区評議会議長 堤

このたび飯塚前議長の後をうけ、小教区評議会議長を務めさせていただくことになりました。

私が六甲教会に転入したのは2002年12月で、今年でちょうど12年になります。12という数字は、聖書の中では、「大切な数字で」イスラエルの12部族、12使徒等対象のすべてを表しているようです。神様が、「お前はこの12年間で、教会のすべての方に支えられ、その恵みを頂いたので、そろそろ六甲教会の皆様には仕える時だ（『時は神の使者』と福者ピエール・ファールは言っています。）」とされているような気がし、この大役をお引き受けすることにしました。そうしたところ神様は、私に素晴らしい強力なパートナーを副議長として任命してくださいました。引き続き副議長を引き受けてくださった小林様、地区会に精通されている橋岡様です。私の『欠けたところを身をもって』サポートしていただけると確信しています。（神に感謝！）

今年は、阪神・淡路大震災20年および大阪教区新生計画20周年という大きな節目の年になっています。教区では、この20年を振り返り、新たな歩みを作り出すため、この1年間をかけて教区新生計画20周年が企画されています。六甲教会も新たな歩みを作り出すために立ち向かわなければならない課題はたくさんあります。信徒の皆様から幅広い積極的なご意見・提案を頂いて、『聖霊がそのときに教えてくださる』ことを信じ、チャレンジしていきたいと考えています。皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。



<左から 小林副議長、堤議長、橋岡副議長>



## 「2014 年度第 5 回小教区評議会」報告

評議会前議長 飯塚

3月15日の12時から第4会議室にて今年度最後の小教区評議会が行われました。

はじめに、2月7日に開催された拡大評議会において示された案と協議の結果を踏まえて修正された予算案が承認されました。続いて5月31日に六甲中学・高等学校で行われる神戸地区大会について、地区大会実行委員である松平さんから準備の進捗状況の報告と六甲教会への要請がありました。

5月31日は午後1時から松浦司教司式の御ミサで始まります。ミサ中の典礼聖歌の練習の依頼がありました。ミサ後のイベントは3部で構成され、ダンス・歌・演奏が第1部。第2部は司祭や信徒12名によるトーク（信徒1名の募集が掲示されています。質問も募集中）と平和川柳（募集中）。第3部としてこいずみさんの歌と全員による大合唱が予定されています。食堂利用とお手伝い、交通手段と手話通訳についても報告されました。

報告事項につきましては、5月24日に神戸中央教会で行われる神戸東ブロック合同堅信式、神戸海星病院の聖堂使用についての契約変更、地区役員会からは、行事予定表と連絡網の配布・復活祭ミサ後のお祝い会とコリンズ神父様の送別会、養成部から入門講座等の変更について・・・などありました。

終わりにアルフレド神父様から、4月からの10時のごミサの後の集い（イグナチオ喫茶の拡大変更・毎週）のPRへの要請 若者の集い（仮称・4月16日予定）への取り組みの紹介 があり、続いて「新生計画 20周年振り返りシート」の紹介と取り扱いについて協議がありました。六甲教会（信徒）にとって「新生計画」とは何であったのか。これからの「教会」のあり方への模索をどう進めるか、「シート」はその手掛かりになるのか・・・等について話し合われました。まずは典礼・養成・社会活動の3つの実行委員会で見ようということになりました。（13：30 終了）

次回の小教区評議会（2015年度 第1回）は5月10日（日）12：30からの予定です。

2013年度からの小教区評議会議長団はこの4月5日ご復活をもって任期が終了いたします。至らないこと・ご迷惑をお掛けすることが多々ございました。申し訳ありませんでした。何とぞお許し下さい。これからは堤新議長を中心に新しい力でカトリック六甲教会をまとめて行くこととなります。教会は、共同体の皆さんのお一人ひとりが主の助けと護りのうちに、支えて歩いていくものであると思います。皆様の上にもいつも主の平和がありますように。



### ナルドの花たより

#### 「教皇フランシスコによる3月29日受難の主日のミサ（於：サンピエトロ広場）説教」より

この盛大なミサの中心には、フィリピの信徒への手紙に記されている「へりくだって」（2・8）ということばが響いています。イエスはへりくだっておられました。このことばは神の道であり、それゆえにキリスト者の道でもあるべきです。それは謙虚になることです。謙虚になることは、神の道にはかたまりません。神はへりくだってご自分の民とともに歩き、彼らの不誠実な行いをゆるしてくださいませ。復活祭に至る聖週間に、わたしたちはイエスのこのへりくだりの道をたどります。そうしなければ、この一週間は聖なる週になりません。この聖週間の間、救い主である主イエスへの深い愛をもって、このへりくだりの道を決然と歩みましょう。愛がわたしたちを導き、力づけてくれるでしょう。そうすれば、主のいるところに、わたしたちもいることになるのです（ヨハネ12・26参照）。

～カトリック中央協議会 HP より抜粋～

<行事報告>

## 洗礼志願式（2月22日）

アルフレド主任司祭およびコリンズ神父により、3名の成人と2名の子供たちの洗礼志願式が行われました。成人の方々は4月4日復活徹夜祭に、子供たちは翌週12日に受洗の予定です。

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～

## 第16回「祈りと音楽の集い」（2月22日）

2月22日、この日は前日の好天とうって変り朝から小雨が降る天候でした。今回は当教会の音楽家に加え、カトリック香里教会からソプラノの谷崎さんをお招きして、「四旬節の祈り」と題して、四旬節の音楽をご用意致しました。

J. S. バッハのオルガンの前奏曲から始まり、J. S. バッハのオルガン小曲集より5曲、讃美歌21、カトリック聖歌集から四旬節の歌。フランソワ・クーブランのオルガン・ミサより1曲。旧約聖書からのエレミアの哀歌の朗読を挟み、そして、ソプラノ2重唱。最後に同じくフランソワ・クーブランのオルガン・ミサより2曲。

（オルガン演奏：三浦さん・松井さん、ソプラノ：浅野さん・谷崎さん  
朗読：阿部さん）

四旬節は「神の思い」を中心に据えて生活したかを振り返る時期。今回のプログラムはそれに寄り添うことが出来る内容だったと思います。

また、その日のごミサの閉祭で私たち会衆が心を併せて歌った「人よ、汝の大いなる罪を嘆き」が、このプログラムの中にあり、再度、今度は静かにソプラノ独唱に耳を傾けることが出来たのは大変良かったように思いました。

音楽は私達の心に寄り添い、慰め、また時には奮い立たせる力を与えてくれます。毎回「祈りと音楽の集い」を楽しみに聴きにきて下さっている当教会の方、他教会の方。また教派を超え、そして信仰の有無を問わず来て下さった方々に良い音楽を聴かせて頂き、無料でよろしいのですか？等々とお声を頂戴する度、ここに携わる者は皆、喜びに満たされます。

今回、足をお運び頂くことに躊躇される天候と時間帯ではございましたが、次回はさらに沢山の方々に足をお運び頂けたらと願っております。 (高山)



## 教会学校卒業合宿（3月14日～15日）

今年も3月14日～15日にかけて6年生の卒業合宿をカトリック六甲教会で行いました。

今年は夕食にみんなでたこ焼きとそばを作り、次の日には子ども達があまりした事がないと言っていたので、神戸観光に出かけました。ハーバーランドで船に乗り、海の上からといういつものとは違った場所から神戸の街を眺めたり、北野の風見鶏の館で記念写真を撮ったり皆で楽しい1日を過ごしました。  
(5・6年担当リーダー 岩田)

### ～子供達の感想文～

#### 「卒業合宿に参加して」

ぼくは、三月十四日から十五日にかけ、卒業合宿に参加しました。

まず一日目。教会学校が終わり、六年生のみんなとリーダーたちと夕ごはんをつくりました。ぼくは料理が得意な方ではなかったけど、みんなで協力して、おいしいたこ焼きとそばができました。仲間の大切さも学ぶことができたと思います。食事中はみんなと笑いながら食べました。とても楽しい一時でした。ねる前はトランプゲームやジェンガをしました。みんなと楽しく遊ぶことができうれしかったです。夜はぐっすりとねむれました。

二日目は朝、起床して、朝ごはんを食べてミサを受けて、出発しました。行き先は着くまで秘密でしたのでたのしみでした。JR神戸駅に着いた駅でした。船に乗ることになったのです。リーダーやみんなとパンを食べながら雑談をして、過ごした四十五分はとても楽しい一時でした。その後、神戸の街を歩きました。雑談をたくさんしながら歩いたのを覚えています。北野に着いた時は、雨が降っていました。野外マジックを六年生のみんなと見ました。ぼくは種を探すことに夢中になっていました。見た後は、六甲山アイスを食べました。みんなと食べるアイスは特別おいしいと思いました。そして、帰りました。

終わった後、とても楽しいことやうれしかったこと、またおもしろかったことがたくさんあったのだと実感しました。たったの二日間だけでしたが、学んだことはたくさんあったことに後から気付きました。

リーダーや六年生のみなさんと教会学校で最後の良い思い出ができました。とてもお世話になりました。中高生会もよろしくおねがいします。ありがとうございます。  
(小田)

卒業式が終わってから、イグナチオホールで6年の女子で話をしていると、リーダーがホールに入ってきた。「ご飯を作ろうか」と。卒業合宿で楽しみにしていたことの一つだった。たこ焼きを作ったり、おそばをたべてみんなで囲んだ食卓はとても、楽しかったし美味しかった。ご飯を食べ終わってからは、ジェンガをしたり、トランプをしたりして遊んだ。夜は女子のみんなで、夜中までしゃべった。

日曜日には、みんなで神戸港にいて、船に乗ったり南京町をぶらぶらしたり、異人館に行ったりした。教会学校最後の合宿で、このメンバーでいることが出来て良かったです！

最後に6年間楽しく過ごせたのは、リーダー、神父様、友達のお陰です。ありがとうございました！これからも、お世話になります！  
(武田)

## 教会学校プチトマト公演（3月15日）

教会学校の劇団「プチトマト」の年1回の公演を3月15日の10時のミサ後にさせていただきました。多くの方に見ていただき感謝いたしております。この公演も、結構続けてきまして、20回を超えています。



どうして、教会学校で、劇団を立ち上げたかと言いますと、もちろん、楽しいと言うことが一番ですけれど、演劇の教育的効果を思っていることです。今の子供たちは、情報を、ビジュアルに過剰に与えられているように思います。そのため、想像力が十分に育っていないような気がしてなりません。演劇は、見ても、演じても、自分以外の人物の心を、実感できると思うのです。疑似体験と言ってもいいでしょう。子供の頃から、いろいろな演劇に触れて来た経験からその思いが強く、子供たちに少しでも豊かな人生を送ってもらいたくて、続けております。

今回の公演のテーマですが、「思いやり」です。愛と、許しの心が忘れられがちな今、どんな人にもそれぞれの事情があるから、見ただけで裁くのではなく想像力を働かせて、思いやりを持って人と接しなくてはいけないと言うことに、気づいてほしいのです。外見だけで、良い人悪い人と決めることはできないですね。限られた練習時間で、どこまで、子供たちに、浸透したか分かりませんけれど。

当日、アンケートにご協力いただきましたが、非常に暖かいお声とともに、台詞が小さくて棒読みとか、忌憚のないご意見をいただき、心から感謝いたしております。なかなか思うように、指導できなくて、歯がゆい思いをしていますが、これからも、頑張っってよりよいものを見ていただけるようつとめて参りますので、よろしく願いいたします。有り難うございました。（阿部）

~~~~~

### 《各部だより》 各専門部会の活動をお知らせいたします

#### 小教区評議会

5月10日(月) 12:30 評議会

#### 典礼部

4月11日(土) 10:00 部会

#### 地区会

4月12日(日) 12:30 役員会①

#### 施設管理部

4月26日(日) 13:00 部会



#### 三日月会

4月20日(月) 14:00 ミサと懇親会

#### 社会活動部

5月1日(金) 10時ミサ後 連絡会

#### 教会学校

4月11日(土) 入学式・始業式  
5月2日(土) お休み

#### 広報部

5月2日(土) 10:00 教会報5月号印刷

《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

## ★社会活動部より★

- 4月11日(土) 10時 炊き出し (イグナチオホール、お台所)  
小野浜グラウンドにて、配食や、おじさん達のお話し相手だけでもOKです。  
4月19日(日) 10時ミサ後 ふれあい広場 (イグナチオホール)  
4月27日(月) 9時30分 ともしびケーキ作り (イグナチオホール、お台所)

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

社会活動部では、年に一度の学習会を来月以下の日時で予定しております。  
大変貴重なお話を伺えるまたとない機会ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

### ◆◆◆ 社会活動部学習会 ◆◆◆

5月17日(日) 14時～ イグナチオホール  
講師：林 尚志 神父 (下関労働教育センター所長)

“愛と正義と平和な世界”への光・道・いのちでありたいとの志しで、20数年前から、イエズス会下関労働教育センター長として、一般市民と共に人間愛と人権を尊重するための様々な活動を続けておられる林神父様に、体験と経験の中からイエズスは私たちに何を伝えたいのか・・・を、聖書に照らし合わせながらお話していただきます。多数ご参加ください。

## ★音楽チームより★

祈りと音楽の集い 《喜びと希望 ～パイプオルガン連弾コンサート～》

✦ 日 時： 2015年4月19日(日) 14:00～15:30 (13:00開場)

✦ 場 所： 主聖堂

✦ 入場料： 無料

吉田愛さんとアレックス・ガイさん、二人のオルガニストによる「ORGAN DUO(オルガンデュオ)」は、オルガン4手連弾、2台オルガン、オルガンソロ、オルガンとチェンバロなど、個性的なアンサンブルのプログラムでパイプオルガンの幅広い魅力を紹介しています。

ヨーロッパ各地の国際フェスティバルや日本のコンサートホールなどに招待され好評を博しています。今回はイタリアで活躍するお二人が、復活祭にふさわしいプログラムを、連弾とソロの曲を交えて演奏してくれます。

一緒に復活の喜びをお祝いしましょう。皆様のお越しをお待ちしております。



## 聖歌隊メンバー募集のお知らせ

ご復活おめでとうございます。

私達聖歌隊は、典礼部に属し、音楽チームの一員として、日頃のミサ、結婚式やお葬儀を中心に聖歌奉仕を行っています。今年で結成5年となり、登録者は現在 約30名。メンバーは20代から三日月会会員まで幅広く、歌で教会に奉仕したい方々が集まって活動しています。

練習は毎日曜日 10時のミサ前にその日のミサの聖歌を、そして定期練習を土曜午前中または、日曜日の10時ミサ後に行っています。

この日には普段のミサで歌う曲だけでなく、聖週間などの特別なミサ典礼に歌う曲、結婚式、お葬儀の歌などを練習します。

特に最近は聖歌隊だけのお見送りを希望されるお葬儀が多くなり、奉仕の機会も増えています。

聖歌は、歌うことで、神様からの言葉や祈りをより一層味わうことができます。音に色付けされた聖句や祈りの数々をご一緒に歌いませんか？

練習は全てに出られなくても大丈夫です。また、お葬儀の奉仕だけでも結構です。皆様のあいているお時間を聖歌隊とともに過ごしましょう。楽譜を読むことが苦手な方、合唱未経験の方も歓迎いたします。まずは練習を覗きにきてください。見学や体験参加をお待ちしております。



今年は、様々な形で聖歌隊の練習日程を皆様に広くお知らせいたします。

心からお待ちしております。

(聖歌隊代表 清水)

### <4月練習予定>

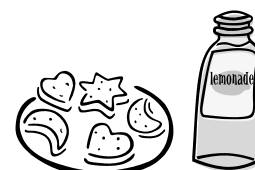
**ミサ前練習： 4月5日・12日・19日・26日(日) 9:00~9:30**

**定期練習： 4月19日(日) 11:15~12:30 第1・2会議室**

**5月9日(土) 10:00~12:00 主聖堂**

### ★教会学校より★

4月12日(日)10時ミサ後の初聖体・祝福式パーティーのためのジュースやお菓子、手作りケーキの寄付を募ります。



ジュース・お菓子はリーダー室前に箱を用意いたしますので、未開封のもので賞味期限が4月12日以降のものを4月5日まで、また手作りケーキは前日午後か当日ミサ前にリーダー室までお持ちください。よろしく願い致します。

(2年生担当リーダー 吉村)

### ★手作りコーナーより★

教会活動の一つ、第3日曜日イグナチオホールで手作りの物を販売しています「手作りコーナー」が、この度、2015年3月で終了することとなりました。

このコーナーは、1991年、オマリー神父様のご依頼で馬場さんを中心に始められ、少しのお休み期間を含め、今日まで、教会建設、留学生の援助、子供の里・旅路の里・被災地・アフリカ支援の会などを支援して参りました。

窪田・河野・古賀・木暮・小松原・鈴木・橘親子・藤井・前田以上10名のメンバーで、手作り弁当・炊き込みご飯・お寿司などを作り、販売。有志の方からお米・パン・ケーキ・手芸品・植木などのご寄付をいただきました。

2014年度の収益金は、子供の里・旅路の里・アフリカ支援の会の各団体、六甲教会を寄付いたしましたことご報告いたします。

信徒の方々のお買い上げのご協力を頂き、皆様のあたたかいご支援あればこそその活動でした。一同心より感謝申し上げます。長い間、ありがとうございました。

(手作りコーナースタッフ一同)

10年余りの活動を振り返りますと、あっという間に過ぎ去ったように思われます。

主婦の手作りの物を信徒の方が買ってください、細やかな活動ではありましたが、皆様との共同作業が献金という形で何かお役に立っていることを思いますと、心温まる思いです。私たちのできますことは小さな小さなことですが、仲間・共同体の中で、思いやり・優しさを通して確かな大切なものを頂きました。感謝しかございません。

一緒に働いてくださいましたメンバーの皆様、あたたかく見守って下さいました信徒の皆様、本当にありがとうございました。(藤井)

## ★墓地っ子たより★

### 春の墓参（3月8日）

春は名のみ風の冷たさ、の墓参でした。それでも最悪の雨、風は無く幸運な天候でした。

納骨は8体、名板への刻銘は18名でした。うち10名の方々は生前刻銘をされる方で、納骨の予約ともいえます。最近は個人墓地の契約は少なく、共同墓地希望者が殆どです。

やはり、親は親、子は子と言った独立性を反映しているのでしょう。

しかし、最近個人墓地を契約されたある方の場合、墓石建立時に子供、孫達全員がお墓に来られ、お墓の意味を話されたと聞きました。お墓のお世話をする者にとってホッとしました。

いろいろお世話くださいました皆様、ありがとうございました。(墓地委員会 SF)



<納骨式直前の共同墓地祭壇>



## 「イグナチオ喫茶」よりお知らせ

今年度から、毎週の主日 10時ミサ後（年末年始と8月を除く）、イグナチオホールにて、イグナチオ喫茶が開かれることになりました。

週によって異なった形式になる予定ですが、信徒のみなさまが、語り合い、ふれ合い、お互いの信仰、共同体の絆を強めるきっかけとなる場になればと思います。

ミサ後すぐに教会を後にせず、10分でも20分でも、イグナチオホールへお立ち寄りください。いつも親しいあの人の顔、久々にお会いするあの人の顔、初めてお会いする顔、様々な出会いが皆様を待っています！

多くの方のご来場を心よりお待ちしております。





# ★★★ 2015年神戸地区大会 ★★★

5月31日(日) 六甲学院

テーマ：TOMOに語ろう！私たちの平和！

1 13:00~14:30 ミサ

2 15:00~16:30 イベント

第1部 ダンス、歌、楽器演奏などの披露。

第2部 各教会の代表お一人と神父様、12名の皆さんによるためになるトーク。

第3部 みんなで歌おう！ こいずみゆりさんの歌と参加者全員での大合唱。

## << 出場者募集 >>

何か舞台上で披露できる趣味をお持ちの方

(例：フラダンス、社交ダンス、エアロビ、歌など……)

※グループで参加していただくのも大歓迎です。

※時間は5分程度です。

※発表後、司会者が少しインタビューをさせていただきます。

出場していただける方は、神戸地区大会 六甲教会実行委員  
松平麻也さん(携帯番号 090-3678-7671)までご連絡ください。

## << 川柳募集 >>

2015年神戸地区大会テーマ「TOMOに語ろう！私たちの平和！」へのみなさまの思いを、川柳で募集いたします。川柳は俳句と同じく、〈五・七・五〉の十七音の、世界で一番短い定型詩のひとつです。俳句のように季語を詠み込む必要もありません。だれでも作れるこの言葉のリズムにのせて、あなたの平和への願いをお寄せください。

- ・どんな紙に書いて応募いただいてもかまいません。
- ・お一人何句応募いただいてもかまいません。
- ・お寄せいただいた川柳の中からユニークなものを地区大会プログラムに掲載いたします。
- ・応募箱を聖堂入り口に設置いたします。
- ・募集期間は4月19日(日)まで。



## お別れのことば

ダニエル コリンズ 神父



京都の大学にいるとき4年、六甲教会の協力司祭となつて4年、その前、夏休みにお手伝いに来ていたことを思うと、およそ10年間、六甲教会に携わってきたこととなります。楽しかった！私にとって司牧は初めてのことでしたが、本当に楽しい日々でした。



何より、六甲教会の信徒の人たちはいい！狭くありません。外に向いていて、他の人たちのことを考えています。信徒の働きが足りないと感じますが、少なくとも六甲教会を見ているとそうは思いません。これからは、信徒の時代です。聖霊が皆さんに話しかけています。頑張ってください。

私は、これから、神学院東京キャンパスで全国の教区より派遣された19名の日本人神学生と共に過ごすこととなります。ここは学校と同じですから、春休み、夏休み、冬休みがあります。休みになったら神学生は各教区に戻ってゆきます。私も六甲に帰ってきたいと希望しています。

みなさん、また会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

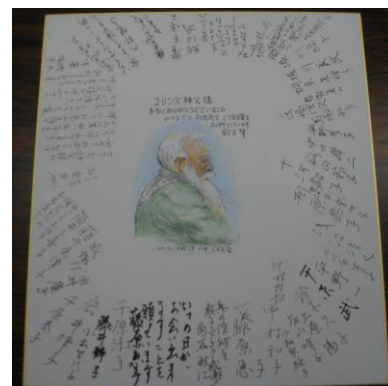
## コリンズ神父さまに贈る言葉

コリンズ神父さま

2011年から三日月会の例会の度にごミサと霊的なご指導をして頂き、ありがとうございました。あっという間の3年半でした。

でも神父様の立派な白いお髭の奥から聞こえてくる力強いお声でのお説教はとても端的で分かりやすくて印象に残っています。

例会ではいつも神父様の右手に座っていましたのでその横顔をスケッチして色紙を用意したところ、いつもの出席者など50人ぐらいの会員が感謝をこめて色紙にサインをしてくれました。4月5日の「お別れ会」でささやかなお礼のしるしとしてお受け下さい。



東京で神学生のお世話をされると伺いましたが、これからもどうぞお元気で、六甲教会の高齢者のためにもお祈り下さい。本当にありがとうございました。  
(三日月会 鈴木)

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．～．



2013年度の初心者を対象にした入門講座(日曜日)は、私を含めて3名でしたので、コリンズ神父様の部屋でこぢんまりと開かれました。二階の一番奥まった部屋に入ると、机の上には分厚い本(聖書?)が載せられた書見台や写真立てがあり、微かに煙草の香りがしていました。私達は神父様と小さなテーブルを挟んでさし向い、混み合ったレストランの席にいるような楽しい雰囲気で行われました。

ブルーの瞳やトレードマークのふかふかの白い髭、アメリカンサイズのお腹(ごめんなさい)、いつも良くお似合いのシャツとサスペンダーにウサギの顔が彫刻されたステッキなど、講義の事を思い出そうとすると神父様の特徴的なディテールばかりが次々と浮かんでまいります。肝心の内容の方では、勉強不足も相まって最初はトンチンカンな質問ばかりでしたが、キリスト教の本質はとてもシンプルで親しみやすいものだとか次第に感じられるようになりました。

その後、無事に受洗をし、一年になろうとしています。その当時は洗礼を受ける事など夢にも思わなかった私に、信仰生活の喜びを教えて下さった事に感謝以外の言葉がありません。

東京に行かれましても、神父様が説く簡潔で明瞭な福音が多くの方に届くことを心から願っております。  
(齋藤)

水曜日の入門講座で、神父様はおっしゃいました。『ごミサの中心は、感謝と聖別の祈りであり奉獻ですから、牧師の場合と違って、神父の話はそれほど重要ではありません』。でも、私は神父様のお話で、どれほど励まされたかわかりません。神父様のお話は真つすぐで、私の頭でも悩まずに理解することができました。少し自信がなくても、一生懸命ご聖体をいただくことができました。神様が決めになることとはいえ、今までのようにお話が聴けなくなるのは、とても残念です。

講座の最終日、話題は「天国」でした。そろそろ終わりの時間になって、しょんぼりしている私達に、神父様はニコニコしながらおっしゃいました。『もう 50 年もすれば、天国で皆いっしょに会えますよ』。私は何だか嬉しくなりました。でも、ふと思いました。私は煉獄で手間取って、なかなかお目にかかれぬかも知れないと。その時は、また、真つすぐな励ましを送っていただければと願っています。

神父様ありがとうございました。そして、よろしく願いいたします。  
(齋藤)

### ～コリントス神父様の講話より～ いつまでも心に残る大切な言葉

「2000 年前の歴史的イエスではなく、十字架の苦しみと死を通して 3 日目に復活され、今も私達の中に生きていらっしゃるキリスト！ 私達に無償の恵みを与えて下さる復活のキリスト！」

「主の復活を通して、私達はゆるされている！ 救われている！ 愛されている！ 招かれている！ 安心してください！」

「パウロも歴史的イエスではなく、復活のキリストに出会ったのです。私達と同じように。パウロも罪人として招かれ、罪を通して主に癒されたのです。」

神に感謝！神父様に感謝！  
(桐原)

＜ ご復活のお祝いとコリントス神父様の送別会 ＞  
4月5日（日）10時ミサ後 イグナチオホール

＜ 初聖体・祝福式お祝い会 ＞  
4月12日（日）10時ミサ後 イグナチオホール





## みんなの広場

今、天正遣欧少年使節の本を読んでいます。さまざまな政治的な思惑もありつつ、将来の日本の教会の指導者として選ばれた4人の少年たち。困難と共に喜びの多いヨーロッパでの体験。そして迫害の時代、殉教。何より、すべてをかけて、遠い異国でみことばであるイエス・キリストを告げ知らせた宣教師の活動に心打たれます。

自分たちのことに目を向けると、この復活祭後にコリンズ神父様を日本の教会の将来を担う若者たちの教育の現場へ送り出した私たちは、教会に神父様がお二人だけという状況をむかえます。六甲教会にとっては初めてのことですが、それでも恵まれていることに感謝しなければならないと思います。

その上で、私たち信徒がどのような働きをするか、考える時が来ているように思います。私たちは、洗礼の恵みによって、どこにいても福音宣教者になり、イエスの福音をあかしするように求められています。

「行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。(ヤコブ2:17)」

考えるだけではダメですね。動き出さなくては！

(マリア・フランシスカ)

### <広報部より>

#### 「みんなの広場」原稿募集！

信仰メッセージに限りません。日々の喜び・悲しみ・感謝、暮らしの中での気づき等、数行でけっこうです。お気軽にご寄稿ください。

毎月15日締め切りです。原則として、ご寄稿頂いた月に、到着順、洗礼名（ご希望の場合はフルネーム）で掲載します。紙面・編集の都合により、その月に掲載できない場合もございますので、ご了承ください。洗礼名で掲載いたしますが、後日広報部からご連絡させて頂く必要があった時のため、提出原稿には必ず氏名・連絡先をご記入ください。

原稿提出先： ①教会事務受付

②教会 Fax078-851-9023

③E-mail: [renraku@rokko-catholic.jp](mailto:renraku@rokko-catholic.jp)

### 教会のしおりについて

- 2015年度から教会のしおりの配布は行いません。
- 本年度小教区評議会役員／評議員・地区会役員名簿および行事予定表を4月12日（日）まで、主日のミサ前後に配布致します。
- 役員名簿／行事予定表以外の教会に関する情報は2014年度教会のしおりをご覧ください。
- 2014年度教会のしおりは処分なさらずに大切に保管ください。

教会報5月号の発行は、5月3日（日）です。

原稿は、4月19日（日）までに教会受付へご提出ください。FAX 及びメールでも受付いたします。

(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| カ | ト | リ | ツ | ク | 六 | 甲 | 教 | 会 |
| 〒 | 6 | 5 | 7 | - | 0 | 0 | 6 | 1 |
| 電 | 話 | 0 | 7 | 8 | - | 8 | 5 | 1 |
| F | A | X | 0 | 7 | 8 | - | 8 | 5 |
| 発 | 行 | 責 | 任 | 者 | ア | ル | フ | レ |
| 編 | 集 | 広 | 報 | 部 | セ | ゴ | ビ | ア |